

事務事業名		環境計画進行管理事業			会計	一般会計					
課等名		地球温暖化対策課			事業種別	政策		開始	8	終了	
基本計画上の位置づけ		政策	5	人の営みと自然・環境が調和したまちづくり							
		施策	55	日常的な環境負荷低減活動の展開							
目的	対象(誰・何を)	環境プラン			対象指標	指標名及び単位			24年度数値		
	意図(どうい状態にするか)	プラン改定、および環境レポート策定について市民からの意見を反映する				飯田市の人口(人) (H24.10.1推計人口)			103947		
	向上させたい上位施策の成果指標	環境負荷低減活動(省エネ・節電・節水等)を継続的に実施している市民の割合(%)									
目標	種別	指標名及び単位			24年度計画	24年度実績	25年度計画	28年度見込み	備考(指標変更など)		
	成果指標	市民会議、環境審議会、地区担当者会、パブリックコメントなど参加人数(人)			100	10	16	100			
	定性目標										
事業概要	平成24年度に改訂施行した「21いいだ環境プラン」の進行管理を行う。 環境プランの改訂に合わせて、環境レポートの内容を見直し、進行管理をしていく。										
事業内容					名称			活動指標			
24年度事業内容	1 環境プラン第3次改定版の進行管理 (1) 環境審議会への進行状況の報告 (2) 環境レポートの作成と公表 (3) 温室効果ガス排出量の把握				1 (1) 報告会回数(回) (2) 公表数(件・回) (3) 把握件数(件)			1回 1件・1回 全市分1件			
事業コスト		23年度決算額	24年度予算額	24年度決算額	25年度予算額	特定財源内訳、補足					
事業費計(千円)①		630	94	44	245						
国庫支出金											
県支出金											
起債											
その他											
一般財源		630	94	44	245						
人件費計(千円)②		0		1,073							
正規職員所要時間				300							
臨時職員所要時間											
総事業費①+②		630	94	1,117	245						
事業内容・目標達成状況の振り返り	予定通り進行している。										
改革改善の考え方	①問題点	温室効果ガス排出量について、内閣府より、二酸化炭素のみを対象とした速報値の算定を求められている。これにより、従来行っていた、6種ガスの算定値と2重の算定を行っている形になっている。									
	②改革提案	速報値の対象である二酸化炭素は、当市の6種ガスのうち92%を占めており、速報値の方が算定の精度も、迅速性も高いため、速報値の算定のみ统一到するのが適当であると考えられる。									